

まどか 通信



社会福祉法人 まどか

〒720 - 0032 福山市三吉町南一丁目7番9号

☎ 084 - 928 - 1643 (Fax 兼用)

E-Mail : madoca1643@nifty.com

<http://madoca1643.style.coocan.jp/>

<http://www.facebook.com/madoca1643/>

令和 6 年 5 月 1 日

第 7 5 号

発行責任者：神谷 和孝

発行：社会福祉法人 まどか

編集責任者：高橋 恒二郎

(2月・5月・8月・11月 発行)



～ ある老人の不安 ～

理事長 神谷 和孝

このところテレビや新聞を見ていて、いつも大きな不安感におそわれるようになってきました。今、ロシアとルーマニア、イスラエルとガザ地区、中国と台湾の対立が厳しい状況になってきており、報道されないまでも世界の各地で対立が続いており、この争いに核兵器がからんでいることです。どこかの国が核兵器を使用したら、世界（地球）の総てのことが絶滅するのでは、との不安がよぎります。

次の不安は、前述した大国の対立の影響を、日本が受けていることです。スーパーへ買い物に行くと、野菜、玉子などの大幅な値上がりが目につきます。更に、ガソリン、電力などの生活に必要な物資も値上がりが止まりません。

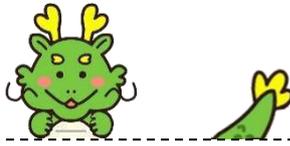
日本の野菜、米などの自給率は30数パーセントと発表されていますが、世界中に時期を同じくして対立が起こったら、食料を世界からの輸入に依存している日本はどうなるのでしょうか。

今、日本は国連障害者権利委員会より出された勧告を含め、色々な資料のデータからもわかるように、政界の経済や教育などの流れから遅れていることが良くわかります。このままでは、世界の発展の流れに取り残されてしまいます。

このような日本を、次の世代にゆずっていく我々にとっては申し訳ないというのか、残念というのか、複雑な気持ちにかられます。

どうぞこれからの世界を生きて行かれる方は、今の日本の政治、経済、文化、教育とあらゆる点から日本の状況を見つめ、一人ひとりが自分の生き方に反映して欲しい、と望まずにはられない気持ちです。

おぼっぴく すみれ工房



新年度が始まり、制度改正もあつたりでバタバタしていましたが、少しずつ落ち着いてきています。

春は別れと出会いの季節と言いますが、すみれ工房でも就職し旅立って行かれる方もあれば、見学や体験利用など新しい顔も増えています。気持ちを新たに、今年度も『働く』、『働き続ける』をサポートしていきます！

法人の Facebook では
詳細もお知らせしていますので
巻末の QR からご確認ください。

空き状況（受入可能人数）

移行支援

・・・ 3名

（利用調整中：3名）

継続支援B型

・・・ 若干名



令和6年度が始まり、早一か月。

決算報告へ向けての準備で令和5年度の活動を振り返っているところですが、これまでも紙面で様子をお伝えしているように、すみれ工房からは3名の方が企業就労へ移行されていました。

また、基幹相談支援センター「クローバー」をはじめとした市内の相談支援事業所、ハローワーク、東部地域障害者就業・生活支援センターなど日々の活動で連携をとらせていただいている支援機関様からのご紹介や直接のお問い合わせ等を頂き、令和5年度中に16名の方が当事業所を見学、体験利用等をされています。

令和6年度も早速1名の方が内定を頂くことができ、見学や体験利用についても年度当初から多くのお問い合わせを頂き、4月だけで5名の方にお越しいただいています。

『働きたい』、『働く』、『働き続けたい』を当事業所ではサポートしていますが、今回の紙面では働くだけではなく、季節のレクリエーションなど余暇活用の様子もお知らせします。今年度も仕事に遊びに、いろんなことに精一杯取り組んでいきたいと思ひます。



余暇活動の一環として希望者参加型で、スポーツレクリエーションを年に数回実施しています。卓球やバドミントン、バスケットなど、体を動かして楽しみ、リフレッシュされています！



スポーツレク



むしゃりに行こう♪



いちご狩り

3月には希望者参加でいちご狩りをしました。
「紅ほっぺ」に「スターナイト」にと、旬を迎えた
いちごを参加された方は口いっぱい頬張って満喫。

ハウスの中には休憩できるスペースもあって、参加された皆さん、時間一杯（お腹いっぱい）まで
楽しまれていました。



観桜会



例年はとまり木と合同ですが、今年度は予定が合わず、事業所別での観桜会（お花見）になりました。寒気の影響で開花が遅れ、当日は絶好の花見日和でした。定例ミーティングで『お弁当に巻き寿司を！』の声があり、今年の花見弁当は巻き寿司も選べました♪

すみれ工房では毎月の定例ミーティングで、活動内容など皆さんの希望を確認しながら色々な取り組みをしています。





地域活動支援センターとまり木 施設長 長谷川は 「福山市障がい者総合支援協議会」の委員もさせてもらってます。

今回は「地域生活支援部会」が作成している「福山市内で活動されている自助グループ（2023年度）」のご紹介をさせていただきます。

福山市障がい者総合支援協議会の地域生活支援部会は、地域の現状把握・共有、必要な情報の発信、ネットワークづくり、地域の社会資源の開発・改善を目的としています。この部会は、障がい種別に関係なく、行政、医療、福祉、地域など幅広い分野から選出された委員が集まり、「地域で暮らす」ことに支援の必要な人をサポートできる仕組みづくりに向けて検討を重ねています。

自助グループとは、生きていく上で困難や問題、悩みを抱えた人が同じような問題を抱えた人や家族らと自発的なつながりで結びついた集まりのことです。自助グループは、当事者同士のミーティング活動や参加者が主体となって運営している点が特徴です。

次頁は、福山市内で活動されている自助グループの一覧です。

なお、各団体の詳細は社会福祉協議会のサイトより確認してください。



福山市障がい者総合支援協議会



福山市内で活動されている自助グループ
2023（令和5年）度版
福山市障がい者総合支援協議会（地域生活支援部会）
発行：2024（令和6年）3月

掲載グループ一覧



グループ名	対象者										ページ番号
	身体	知的	精神	発達	難病	障がい児	その他	当事者	家族	その他	
AAローズグループ			○					○			4
「家族と教育を考える会」主催 サマリヤルーム			○				○ 人間関係	○	○		5
こころをよせる精神福祉ボランティア 「そよかぜ」			○					○	○	○	6
子どもを亡くした親の会 天使の会								○	○		7
特定非営利活動法人神辺育成会 【さくらの会】	○	○	○	○				○	○	○ 支援者	8
特定非営利活動法人神辺育成会 【サポートファイル記入会】	○	○	○	○					○	○ 支援者	9
失語症の人の集まり「備後の会」							○ 失語症	○		○ 支援者	10
GA福山グループ			○					○	○		11
摂食障害 家族の会							○ 摂食障害		○		12
摂食障害 当事者の会 ふくやまNABA(ナバ)			○				○ 摂食障害	○			13
のぼらの会 【大人の発達障がい者の家族の会】				○					○		14
備後断酒友の会			○					○	○		15
福山市断酒会			○					○	○	○ アルコールで 悩んでいる方	16
福山断酒新生会			○					○	○		17
NPO法人福山みずほ断酒会			○					○	○		18
福山地区認知症の人と家族の会								○	○		19
福山地区認知症の人と家族の会 「定例会」(みんなの集い)								○	○		20
陽溜まりの会東部 「若年性認知症の人と家族の会」								○	○		21
男性介護者の集い									○		22
福山市精神保健福祉家族会 【バラ会】			○					○	○	○ 支援者	23
特定非営利活動法人福山手をつなぐ育成会【仲良し会】	○	○	○	○				○	○	○ 支援者	24
特定非営利活動法人福山手をつなぐ育成会【ふくいくカフェ】	○	○	○	○		○			○	○ 支援者	25

『福山市内で活動されている自助グループ2023（令和5年）度版』より転載

(50音順)*一部順不同

障がい者が自立するとは

福山市精神保健福祉家族会（バラ会）副会長 田和桂子

バラ会はお陰様で今年度も無事スタートしましたが、目前には様々な課題が待ち受けています。皆様のご支援、ご協力を頂きながら一步ずつ前進していけたらと思っています。

さて、先日、月間『みんなねっと』という雑誌を読んでいたところ、次のような当事者の方の投稿が目にとまりました。障害を持った方が自立するとはどういうことなのかということに改めて考えさせられました。皆さんにも一緒に考えていただきたく、引用させていただきます。

私は統合失調症でアルバイトをしながらグループホーム（以下GH）に入居しています。あと1ヶ月で1年間入居したことになります。私は父との確執があって、親といることのストレスから離れるためにとにかく緊急に市内のGHに入居となりました。ここでの生活は100%快適とは言えませんが、一人一部屋、自由行動もとれるというところはいいです。GHでは二食食事がついて、世話人さんがいて相談することもできます。入居して親との距離が離れることで、親も私も精神的に楽になりました。生活能力、自活能力もすこしずつではありますが身につきました。

ただ、立ち足はかかる壁はGHの家賃を支払うために生活費を工面しなくてはならず、三つの清掃会社を掛け持ちして安い給料でやっとのことで1か月分の家賃が支払えます。女一人で稼いで食べていくことがどれだけ大変で厳しいか痛感しています。体もボロボロになりました。それでもGHの世話人さんからすごく優しくされたり、他のGHのお友達との電話のやり取りがあったり、親といるときにはなかった人とのつながりや信頼関係を築くことができました。とても厳しいけれど、自立とはこういうものだということがわかりました。これからも人を頼りながらGHで自立して生活していきたいと思っています。

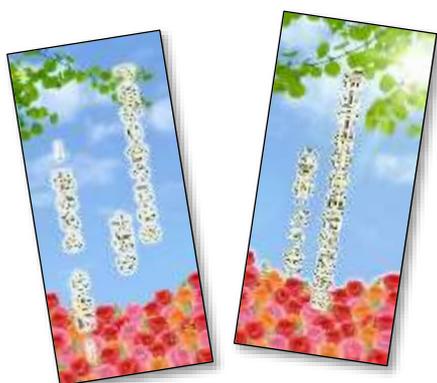
この方を仮にAさんと呼ばさせていただきますが、Aさんはお父さんとの確執があって、GHでの生活を選び、家賃を支払うために三つの清掃会社を掛け持ちしながら実家の世話にならず自立した生活を営まれています。GHで生活することによって人間関係も広がり、現在の生活に満足されているようです。

多くの場合、当事者は親と同居している場合が多く、親亡き後にやってくる单身生活をどのように過ごしていくのかが大きな心配事としてあります。とは言え、AさんのようにGHでの生活になじみ、人間関係を広げていける当事者の方ばかりではありません。また、Aさんも経済的には大変厳しい中を体がボロボロになるほど頑張っている様子、やっと家賃が払えています。精神障害者の多くの方は仕事が続かないことが多く、続いても長時間の勤務はなかなかできないのが実態です。Aさんが今の仕事がいつまで続けられるか心配です。もちろん個人差はありますが、精神に障害を持たれている人は無理な就労はすべきではないと思います。身体障がいの方が様々な補助器具を利用されているように、精神障がいの方は心に松葉づえが必要なのです。

バラ会は、精神に障害を持たれている方が、親亡き後单身生活を始めることになっても無理して就労しなくても安心して生活できるような社会福祉を目指しています。当事者がどのようなことに困り、どのような支援があれば一人でも暮らしていけるのか、就労意欲があればどのような配慮があれば無理なく就労できるのか、当事者の方が生活の細々したことを気軽に相談できる地域生活支援拠点の実働化に向けて、関係機関とともに模索していきたいと思っています。

障害を持った方がそんなになんばらなくても当然の支援に支えられながら、自分の人生を自分の意志で生きていける……それが、障がい者にとっての真の自立ではないでしょうか。皆さんはどう思われますか？

バラ会は、「社会福祉法人まどか」のご協力を得て、新しく紹介用のリーフレットを作成いたしました。是非、ご一読いただき、ご興味があればバラ会にお気軽にお問合せください。



支え合い

一人では困っていませんか？

支え合い

学び

運動

支え合い

一人でも困らず、バラ会へ相談を

◆定例会 毎月第4土曜日 13:30～15:30
 相談会への参加は無料です。または個別の相談をご希望の方は、事前の問い合わせへご連絡ください。

◆場所 福山市ががビル3階 憩休活動室
 (障害者専用場合があります)

◆問い合わせ先 代表 070-97463-9003 (無料)

働きかけ

福祉を通して明らかになった課題を解決していくため、各方面に具体的な課題の解決を要望する活動をしています。

当事者が、地域の中で一人の人間としての尊厳を保持されることなく生きていける社会の実現に向け、家族として何をするべきかを共に考えていきます。

家族が変われば 当事者の方も変わります

家族が正しく学ぶことで、当事者の生きずかさを軽減することができます。また、親亡き後の不安を減らすためにも、互いに支え合い、学び合い、福祉の充実した社会の実現に向けて力を合わせていきましょう。

～「善意」のお知らせ～

今期も「法人まどか」および「すみれ工房・とまり木」、そして「福山市精神保健福祉家族会（バラ会）」に多くの皆様よりご厚志・物品提供および作業支援をいただき、誠にありがとうございました。（順不同・敬称略）

★ 法人まどかへの善意

・岡田美枝・高橋恵子

★ 法人まどかへのボランティア

・岡田美枝・國貞将志・村田紀美子・精神保健福祉ボランティアグループ「そよかぜ」

★ 福山市精神保健福祉家族会（バラ会）への善意

※ 匿名でのご寄附も頂いております。ご厚情につきましては記録に万全を期しておりますが、脱漏がございましたら失礼の段、ご容赦いただきますようお願いいたします。

仕事を探しています

こんな仕事は頼める？
どこまでやってもらえるの？
まずは、ご連絡ください！

見学・体験利用

どんな場所か見てみたい…
どんな事をしているの？
気軽にお問い合わせください！

ボランティア

何かできないかな？
一緒に手伝いたい…
ご連絡をお待ちしています♪

今後の予定（令和6年5月以降、令和6年7月まで）

5月下旬～ 6月上旬	B B Q
5月下旬～ 10月下旬	福山市医師会看護専門学校精神看護臨地実習受入
その他、事業所毎に感染症対策をしつつ実施していきます。	

編集後記

令和5年度は、多くの変化と共に、私たちの生活に新たな一章をもたらしました。感染症による行動制限が解除され、日常の営みが徐々に戻りつつあります。利用者の皆様が自宅で過ごす時間が長くなる中、心身の健康を第一に考え、外出の機会を増やすことで気持ちのリフレッシュを図りました。その結果、前向きな変化が見られ、これからの展開に期待が高まっています。

新たな年度を迎え、利用者の皆様と共に、健康で活動的な毎日を送るための支援を続けていく所存です。「まどか通信」を通じて、皆様の声を反映し、「社会福祉法人まどか」の取り組みをお伝えしていきます。一人ひとりが輝く未来への一步を、共に歩んで参りましょう。
（とまり木 施設長 長谷川）

Facebook



HomePage

